

【保護者と児童の比較】携帯電話やスマートフォン等についてのアンケート結果と考察

調査日：令和元年12月19日～令和2年1月28日

※太字下線部は、今年度の変更部分

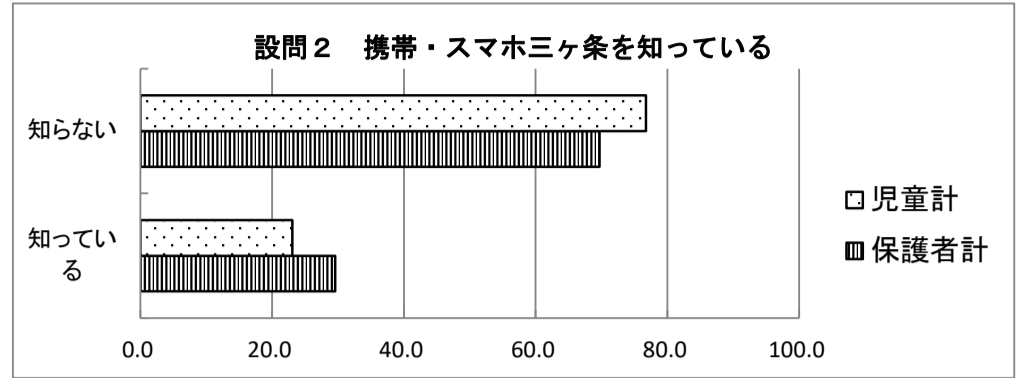
調査対象：室蘭市全小学校保護者（4年～6年）

調査人数

4年生	5年生	6年生	男子	女子	計
421	452	476	679	670	1349

設問2 「室蘭市 携帯・スマホ 三か条」を知っているか。

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
2	① 知っている	22.6	30.1	35.3	30.2	29.0	29.6	23.1
	② 知らない	76.2	69.0	64.5	70.1	69.3	69.7	76.7



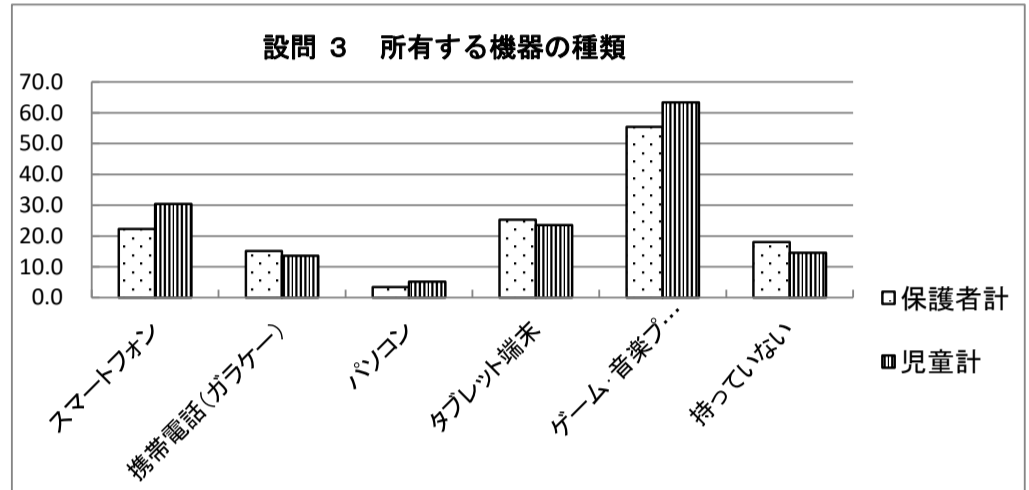
児童より、保護者の方が認知率が高い。

→小学校でもさらなる認知率向上に向けて三か条についてふれる機会を増やしてもらいたい

設問3 子どもが自分専用のインターネット機器をもっているか。

(スマホ、携帯、パソコン、タブレット、インターネット可能なゲーム・音楽プレーヤー)

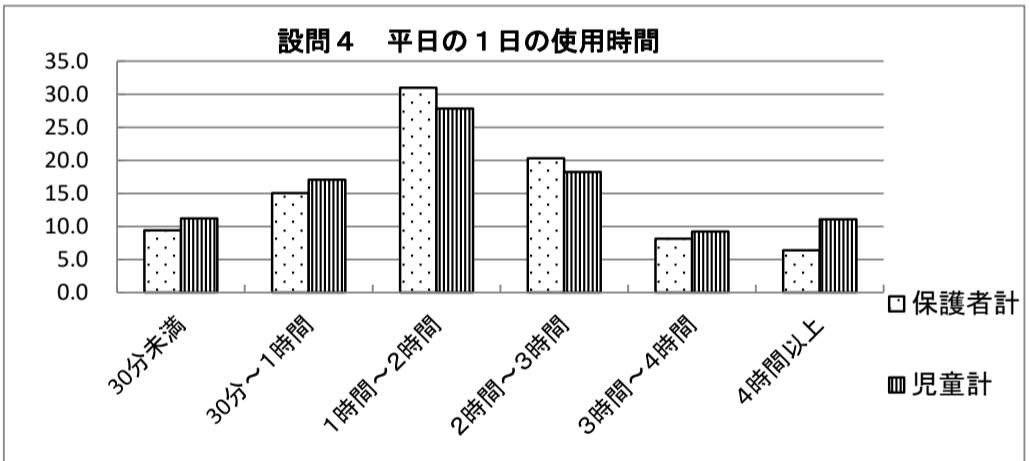
設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
3	① スマートフォン	11.9	21.7	32.1	17.2	27.5	22.3	30.4
	② 携帯電話(ガラケー)	21.1	17.3	7.8	11.2	19.1	15.1	13.5
	③ パソコン	3.3	3.3	3.6	3.8	3.0	3.4	5.1
	④ タブレット端末	24.7	25.9	25.2	23.4	27.2	25.3	23.5
	⑤ ゲーム・音楽プレーヤー	55.6	56.0	54.8	69.7	41.0	55.4	63.4
	⑥ 持っていない	21.1	16.8	16.4	16.8	19.3	18.0	14.6



当たり前だが、保護者に聞いても所持率は児童と同等の結果が出る

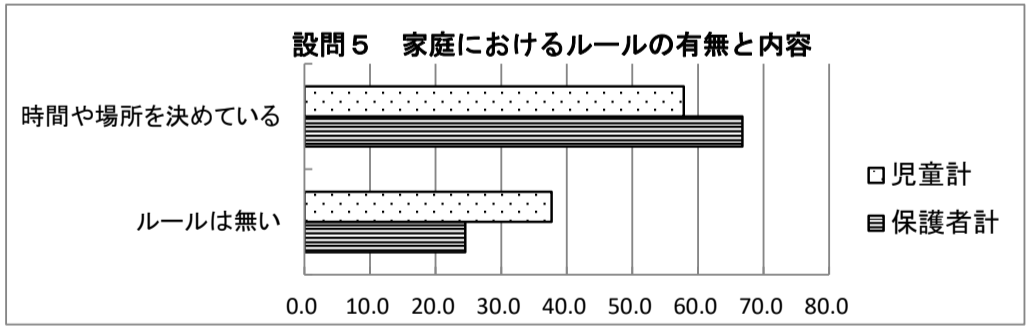
設問4 子どもの平日のネット機器の使用時間

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
4	① 30分未満	10.7	11.1	6.7	5.6	13.3	9.4	11.2
	② 30分～1時間	19.0	14.2	12.4	13.1	17.0	15.0	17.0
	③ 1時間～2時間	29.9	29.0	33.8	33.7	28.2	31.0	27.8
	④ 2時間～3時間	18.3	21.0	21.4	23.1	17.5	20.3	18.2
	⑤ 3時間～4時間	6.4	8.6	9.2	9.3	7.0	8.2	9.2
	⑥ 4時間以上	4.0	6.9	8.0	6.5	6.3	6.4	11.1



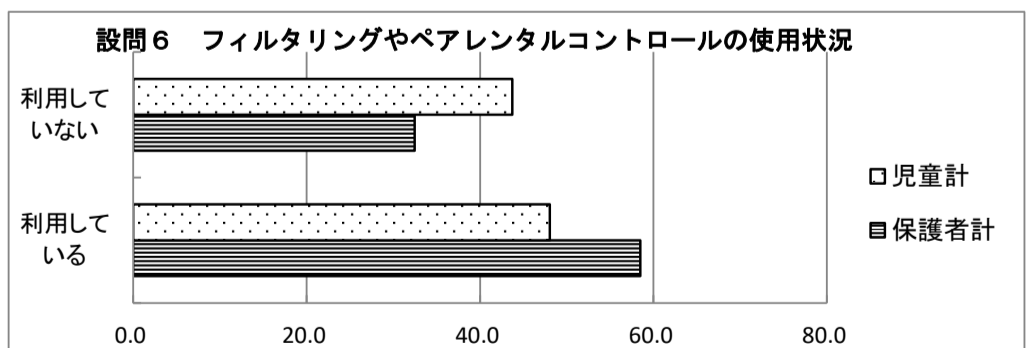
設問5 家庭における携帯やスマートフォンなどの使い方についてのルール

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
5	① ルールは無い	19.0	28.1	26.1	20.5	28.7	24.5	37.7
	② 時間や場所を決めている	70.3	63.7	66.6	71.9	61.6	66.8	57.9



設問6 フィルタリングやペアレンタルコントロールを利用しているか

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
6	① 利用している	56.1	57.3	61.8	61.3	55.7	58.5	48.1
	② 利用していない	31.8	33.8	31.7	30.9	34.0	32.5	43.7



設問4～6

設問4 …児童と保護者で1番大きなズレがあるのは、4時間以上の使用についての認識

○保護者は6.4%だが、児童は11.1%である。【考】保護者が長時間使用に気がついていないのではないか。

設問5 …児童と保護者での認識のズレが10%以上

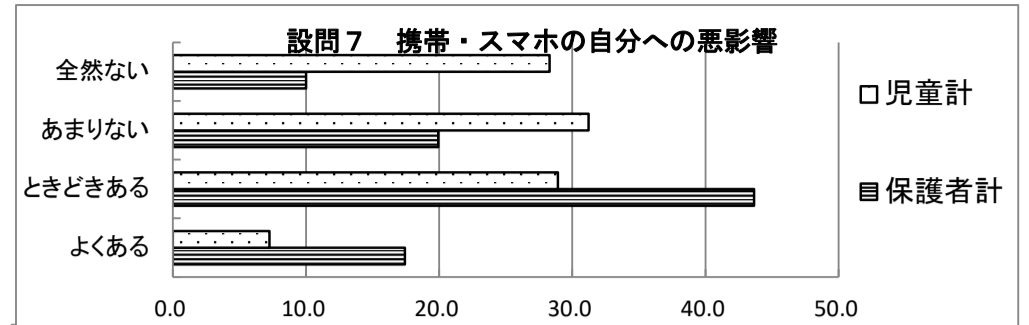
【考】家庭での定期的な確認が、不足しているのではないか。

設問6 …児童と保護者での認識のズレが10%以上

→フィルタリングやペアレンタルコントロールがきちんとかかっているか、定期的に確認を。

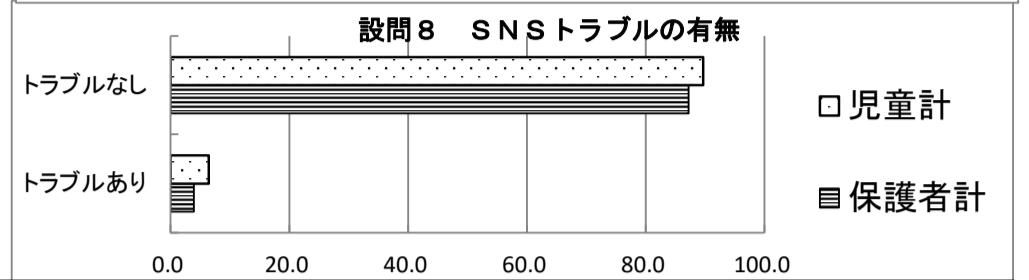
設問7 ネット機器が子どもに悪い影響を及ぼしていると感じることがあるか

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
7	① よくある	16.4	16.2	19.5	21.4	13.4	17.4	7.2
	② ときどきある	43.5	43.6	43.9	45.5	41.8	43.7	28.9
	③ あまりない	16.9	19.9	22.7	18.3	21.6	19.9	31.2
	④ 全然ない	11.9	11.7	6.7	7.2	12.8	10.0	28.3



設問8 携帯電話やスマートフォンを介するSNSトラブルの有無

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
8	① トラブルあり	1.2	2.7	7.6	2.9	4.9	3.9	6.4
	② トラブルなし	87.6	88.5	85.7	89.5	84.9	87.2	89.7

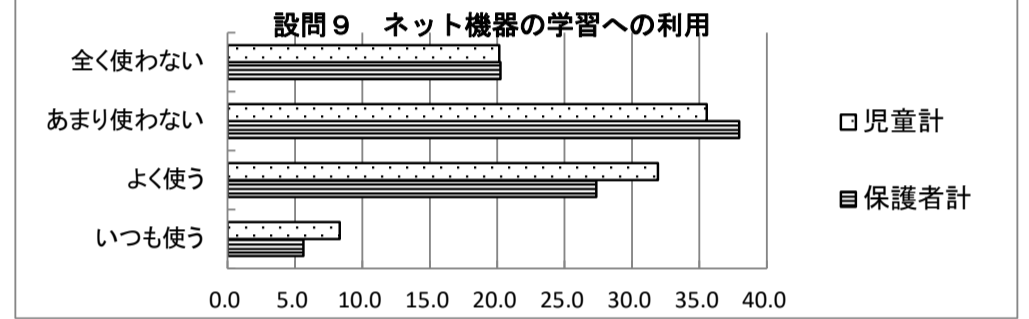


設問7, 8
設問7…「全然ない」と考える児童と保護者での認識のズレが18.3%
 ○学年が上がるにつれて「よくある」の回答が増えている。「よくある」と「ときどきある」の合計が6年生で約4割。
 ○「よくある」と「ときどきある」を合わせて考えると、61.1%の保護者が悪影響を感じている。
【考】傍から見て心配される使用状況でも本人は気がついていないという状況が想定される。

設問8…保護者の認識以上にトラブルは起きている
 ○「トラブルあり」と答えた保護者は3.9%だが、児童の回答は6.4%
【考】設問7に保護者の危機感が表れているが、実際のトラブルには気がついていないことがある。

設問9 あなたは、ネット機器を学習に使うことがありますか

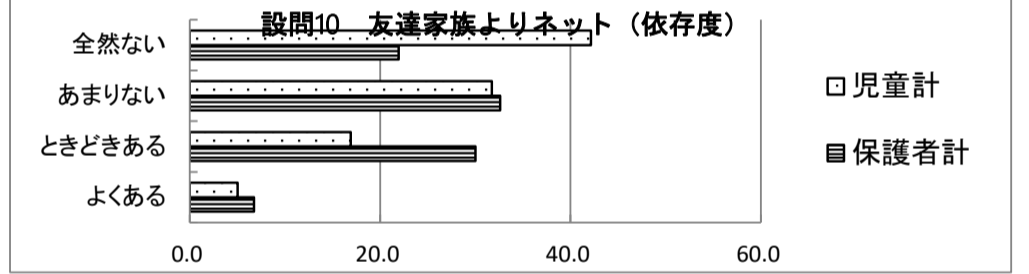
設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
9	① いつも使う	3.6	7.3	5.9	5.4	5.8	5.6	8.3
	② よく使う	22.8	24.8	33.8	26.1	28.7	27.4	31.9
	③ あまり使わない	36.6	38.1	39.1	38.9	37.0	38.0	35.5
	④ 全く使わない	26.4	21.0	14.1	21.9	18.5	20.2	20.2



保護者が考えているよりも子どもたちはネットを学習に活用している
 ○「いつも使う」と「よく使う」の合計は、保護者33.0%で児童は40.2%

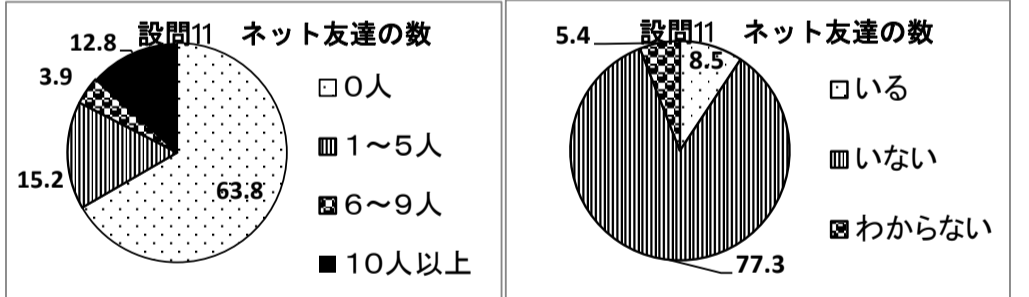
設問10 友達や家族と過ごすよりも、ネットを優先している

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
10	① よくある	6.4	6.6	7.1	8.7	4.8	6.7	5.0
	② ときどきある	28.5	28.8	32.6	33.7	26.3	30.0	16.9
	③ あまりない	28.5	31.9	37.0	32.5	32.7	32.6	31.7
	④ 全然ない	25.9	23.9	16.6	17.5	26.4	21.9	42.1



設問11 ネット友達の数

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
11	① いる	6.9	10.0	8.6	12.5	4.5	8.5	63.8
	② いない	78.6	76.1	77.3	72.5	82.2	77.3	15.2
	③ わからない	3.1	4.4	8.4	7.4	3.4	5.4	3.9

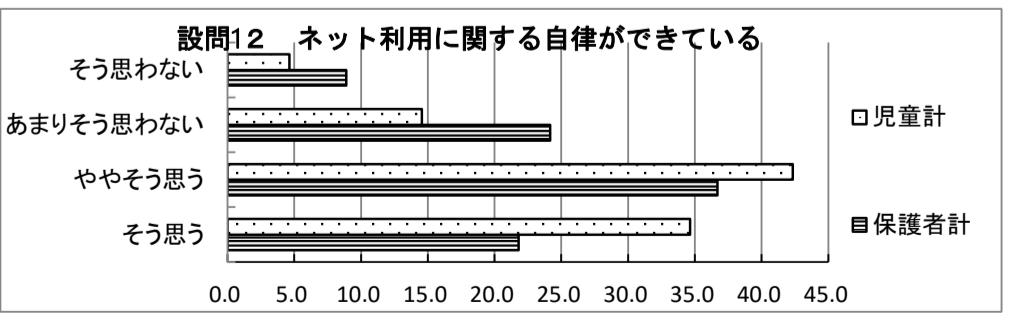


設問10,11
設問10…「全然ない」の認識に20%以上の大きなズレ
 ○保護者の認識では21.9%。児童は42.1%

設問11→ネット友がいる児童は、保護者の想定約4倍。
 ○「いる」と答えたのは保護者では8.5%だが、児童は31.9%
【考】このアンケートをきっかけに少しでも気をつけ、各家庭で把握してもらいたい。

設問12 ネット利用に関する自律ができている

設問	保護者回答内容	全市調査人数に対する割合(%)						児童計
		4年生	5年生	6年生	男子	女子	保護者計	
12	① そう思う	23.5	22.3	19.7	18.9	24.8	21.8	34.6
	② ややそう思う	31.8	38.7	39.1	35.1	38.4	36.7	42.3
	③ あまりそう思わない	24.9	23.2	24.4	28.1	20.1	24.2	14.6
	④ そう思わない	8.1	8.6	9.9	10.3	7.5	8.9	4.6



ネットについて、自分でコントロールができていると思えないのは、児童は約5人に1人。保護者から見ると約3人に1人。
 ○「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせると保護者の33.1%。児童は19.2%。
【考】アンケートをとった際にも家庭での話し合いが生まれたと思うが、さらにこの結果を親子で話し合うきっかけとしてもらいたい。